



真密度測定装置

BELPYCNO

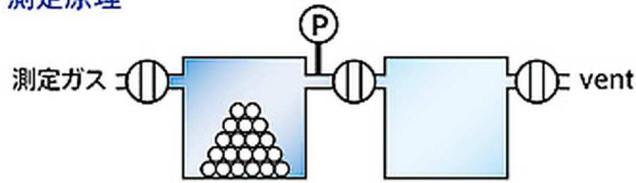
- | ガス置換法によりさまざまな種類のサンプル密度を測定
- | サンプル部のパージから測定まで完全自動測定
- | 膨張室体積可変機構（特許：JP5916775）により、幅広い条件で高精度な測定が可能
- | 試料室の蓋にはグリースレスワンタッチ機構（特許：JP2015137959）を採用
- | タッチパネルの採用により簡単測定

製品仕様

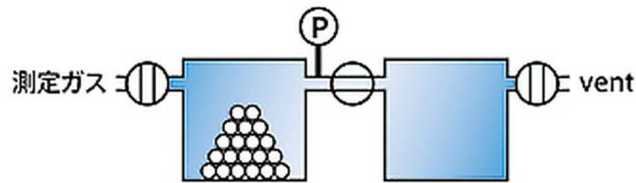
測定原理	ガス置換法
本体試料容量	10 cm ³ , 3.5 cm ³ , 1 cm ³
測定精度	0.03%F.S. + 0.03% Reading
再現性	0.02%F.S.
前処理方法	パージ、Flow、真空排気（オプション）
前処理導入圧	0～145kPa (G)
使用ガス	He、N ₂ 、その他不活性ガス
測定導入圧	145kPa (G)
測定繰り返し回数	最大100回
データ平均値	最大10回
測定温度	15～35°C（循環機使用：15～50°C（オプション））
校正方法	検量球による自動検量
通信インターフェース	出力：RS232C（ラベルプリンタ） 入力：RS232C（天秤データ通信）
外形寸法 (W x H x D)	270 x 170 x 300 mm
重量	8 kg
ユーティリティ（ガス）	He、その他不活性ガス 150kPa (G)
ユーティリティ - 接続方式	1/8"Swagelok継手
ユーティリティ (電源)	AC100～120V/200-240 V / 200 W, 50 / 60 Hz
CE認証	準拠

測定原理

測定原理



試料室をHeで加圧し、圧力を測定します。



バルブを開けて膨張室へガスを拡散させ、
その時の圧力変化から体積を測定します。

本装置はガス置換法により固体試料の真密度を測定します。右図のようなサンプルの入った試料室を加圧し、バルブを開けて膨張室へガスを拡散させます。この圧力変化は膨張室との体積比となり、膨張室および試料室(サンプル除く)の体積は装置固有のパラメーターとしてあらかじめ分かっていますので、サンプルの体積が計算できます。サンプル重量をサンプル体積で割ることによりサンプル密度 (g/cm³) を求めることができます。

代表的な用途

さまざまな業界での使用例：：電池材料、触媒、繊維、ポリマー、化学物質、化粧品、燃料電池、セメント、色素、セラミックス、磁性剤、半導体(CMP)、分離膜、...



アプリケーションデータベースに各種資料を掲載しております。

オプション



オプションでラベルプリンタ印刷、電子天秤からの重量取り込み、真空前処理、恒温循環器によるサンプル温度制御にも対応しています。

www.microtrac.com/belpycno